

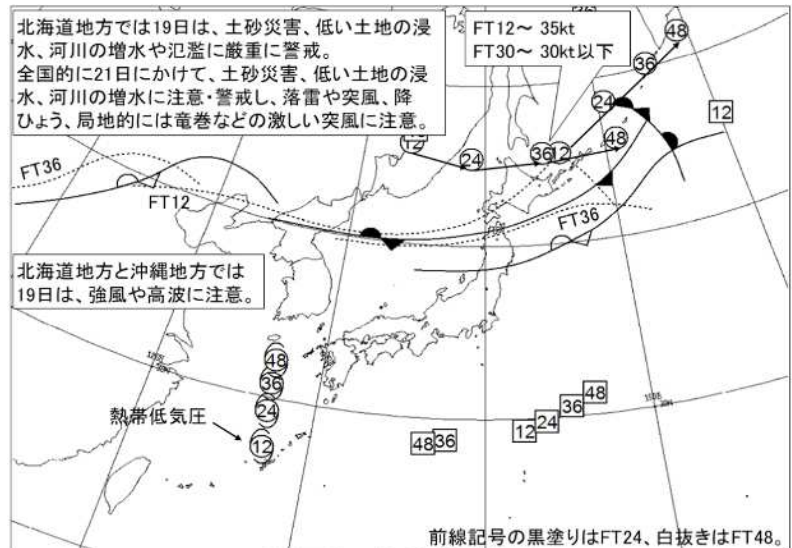
1. 実況上の着目点

① 北海道付近を東北東進する前線を伴う低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、津軽海峡付近で活発に発達、非常に激しい雨を解析。渡島半島に土砂災害警戒情報を発表。

② 先島諸島付近を西進する上層寒冷低気圧（UCL）の東側で、沖縄本島地方を北上する熱帯低気圧の影響で、南西諸島では雷を多数検知、非常に激しい雨を解析、竜巻注意情報を発表。

③ 500hPa 5940m付近の上空の高気圧に対応する地上の高気圧が小笠原諸島近海に停滞。東北地方～西日本では晴れて

気温が上昇し、猛暑日となっている所がある。日中の昇温や高気圧縁辺を回る下層暖湿気、西～東日本を通過中の500hPa 5820m付近で-6℃以下の寒気を伴うトラフの影響で、山沿いを中心に対流雲が発達し雷を多数検知、非常に激しい雨を解析、北～東日本で竜巻注意情報を発表。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の低気圧は、19日はオホーツク海に進み、20日は千島近海を北東進。前線は、19日は北海道地方にのび、20日は津軽海峡付近に停滞。21日は、夜までに前線上の千島の東で発生する低気圧が北東に進み、前線は北～東日本を南下。また、500hPa 5700m付近のトラフに対応する低気圧が、20～21日にかけて、日本海北部から千島近海に進む。

② 1項②のUCLは、20日にかけて台湾付近に進み、21日は台湾海峡付近に進んで不明瞭になる。沖縄本島地方の熱帯低気圧は、19日は東シナ海に進み、21日にかけてチェジュ島付近に北上する。

③ 1項③の上空の高気圧は21日にかけて、ゆっくり日本の南に中心を移し、地上の高気圧は、日本の東～小笠原諸島近海～日本の南に帯状に連なる。北～西日本は21日にかけて、晴れて気温が上昇し、猛暑日となる所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。

④ 21日にかけて、北日本では2項①の前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、南西諸島や九州では2項②の熱帯低気圧周辺の下層暖湿気の影響で、本州付近は日中の昇温と高気圧の縁を回る下層暖湿気や上空寒気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。北海道地方では、これまでの大雨の影響で、大雨災害発生の危険度が高まっている所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。

⑤ 2項①の低気圧や前線の周辺及び2項②の熱帯低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなる所がある。北海道地方と沖縄地方では19日は、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】

① 雨量(18時からの24時間)：東北・奄美120mm。② 波浪(明日まで)：高い所(3m以上)はない。③ 高潮(明日まで)：西～北日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を17時頃発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警戒報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。